

経営比較分析表（令和5年度決算）

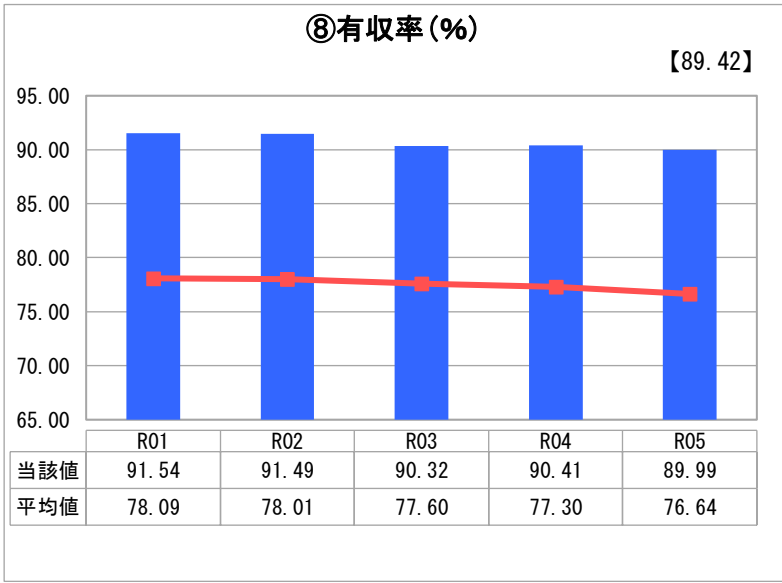
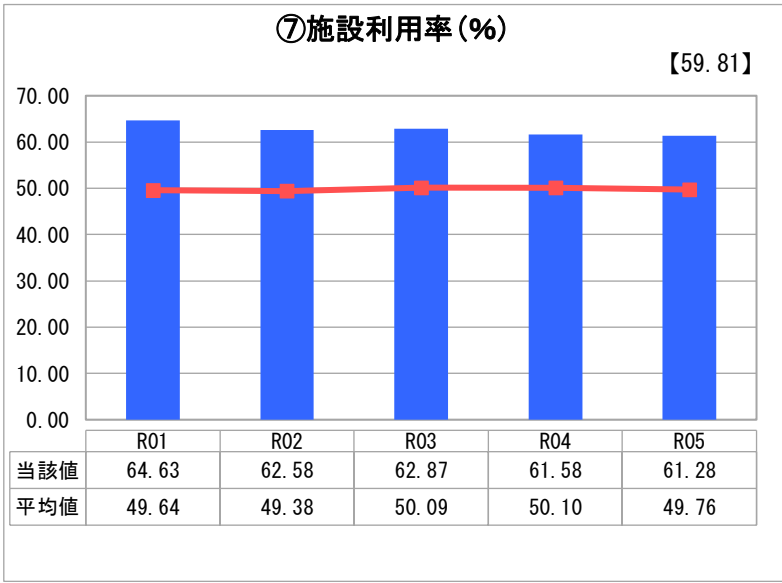
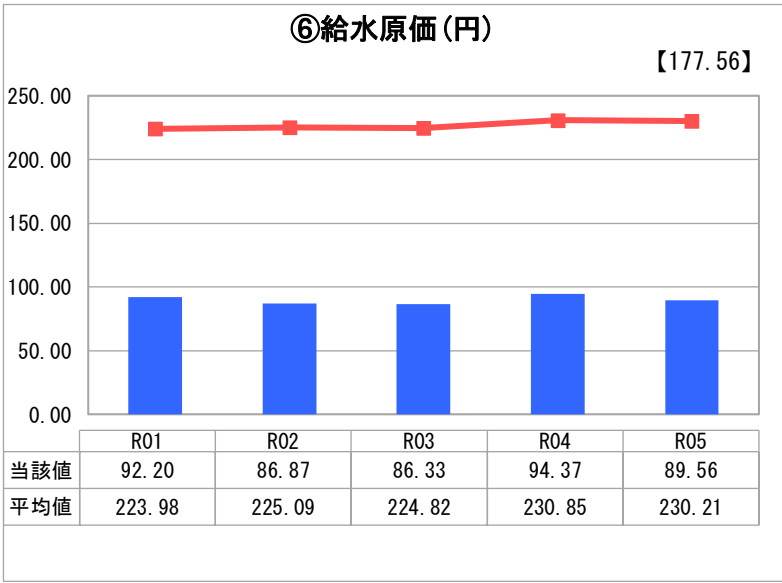
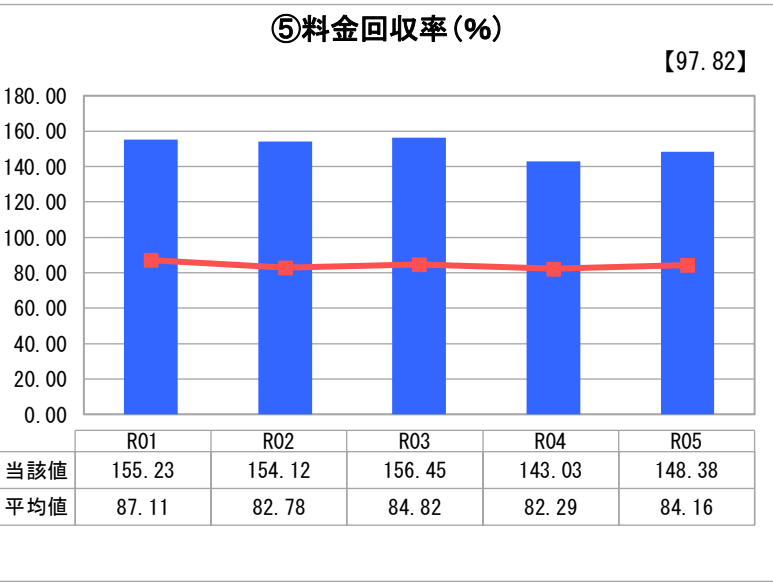
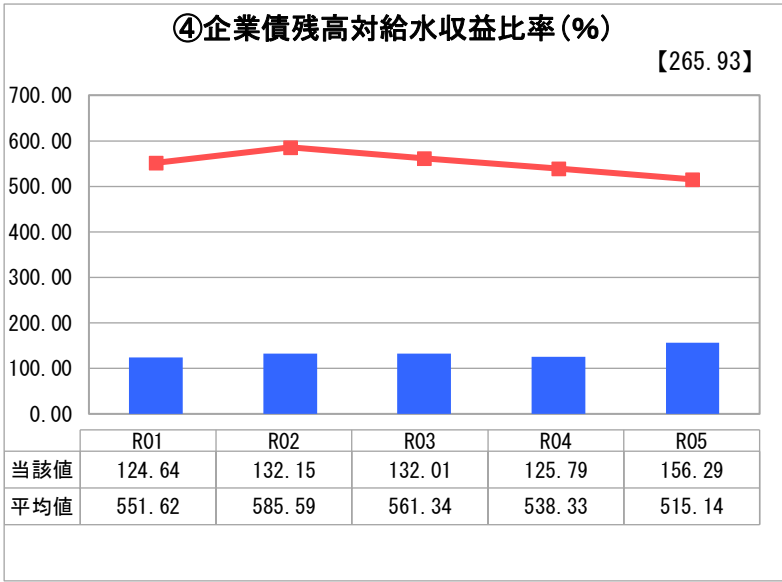
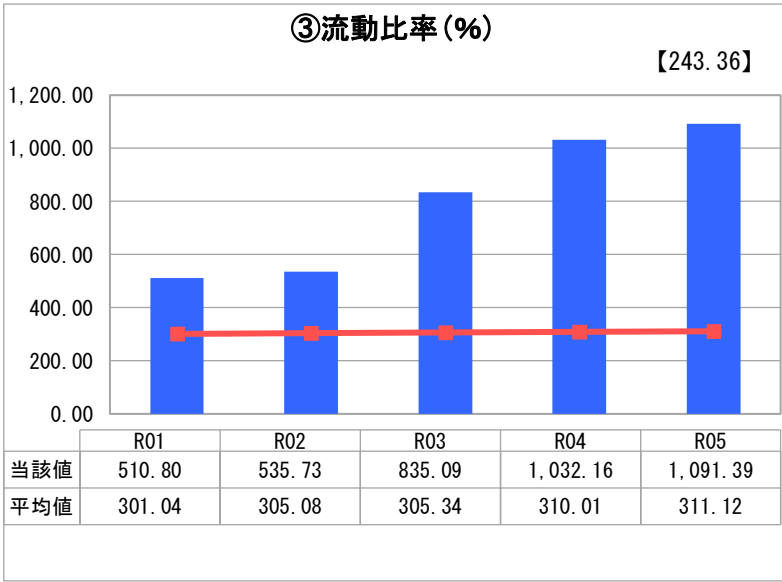
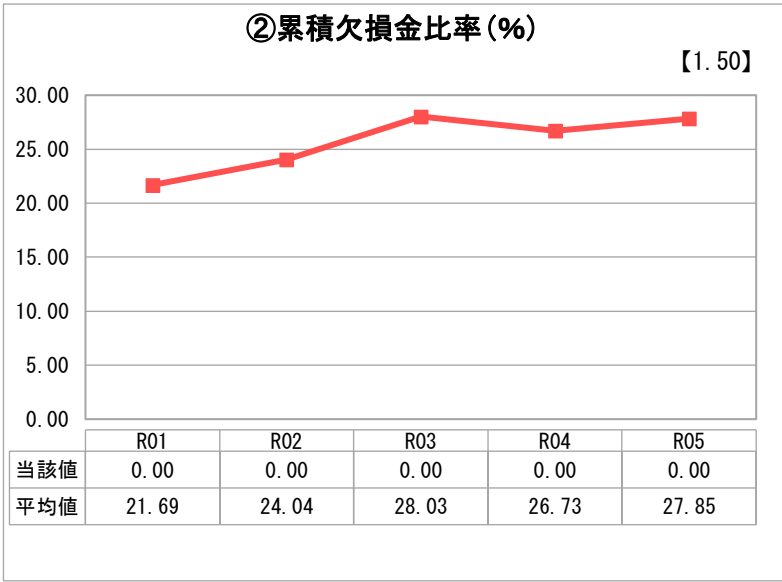
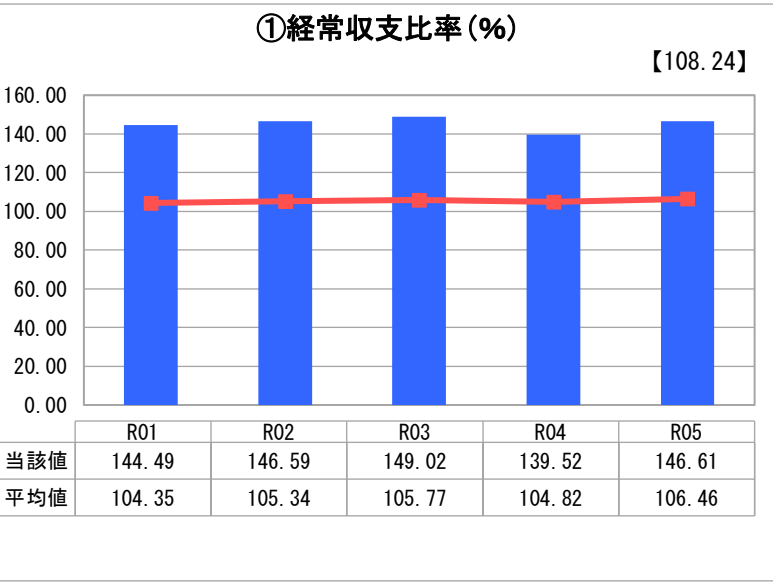
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	88.10	101.26	1,485	

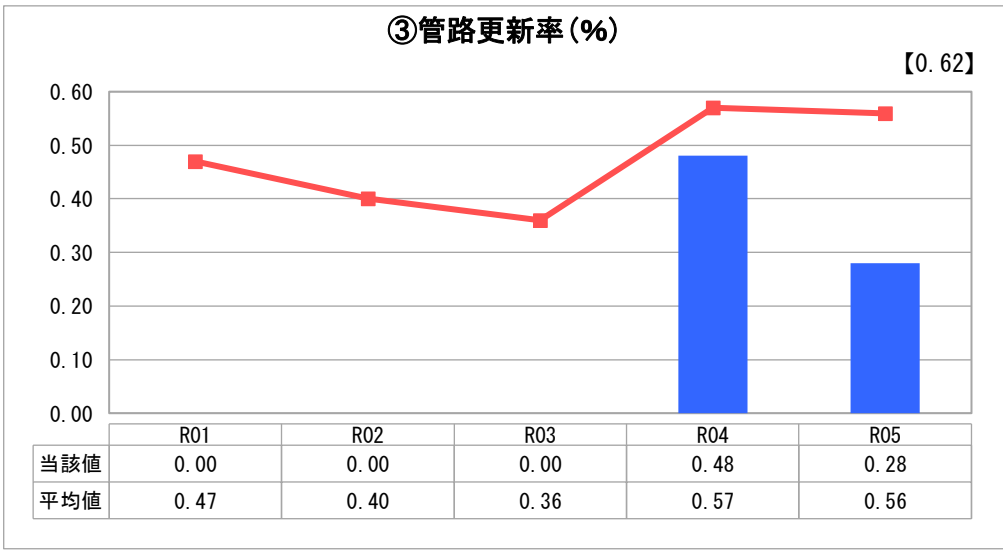
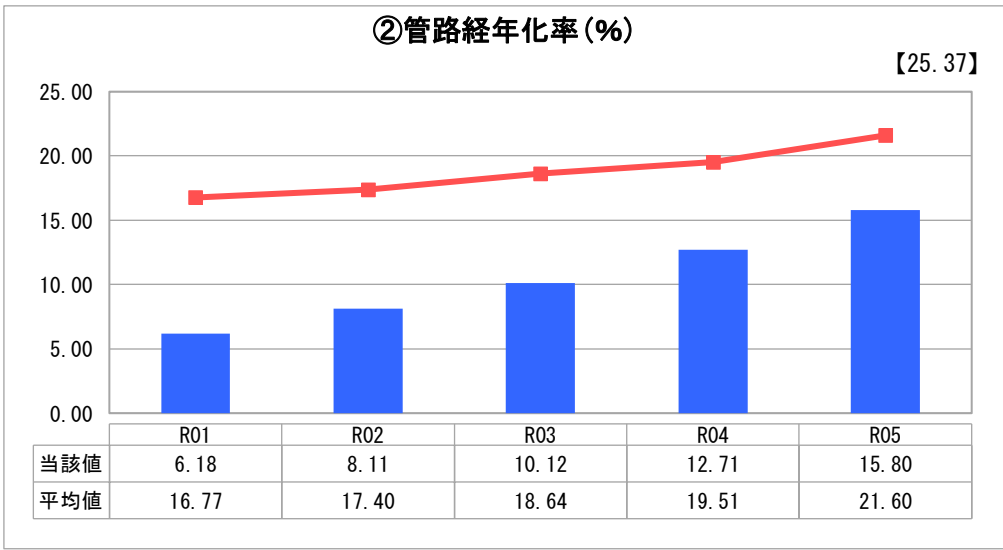
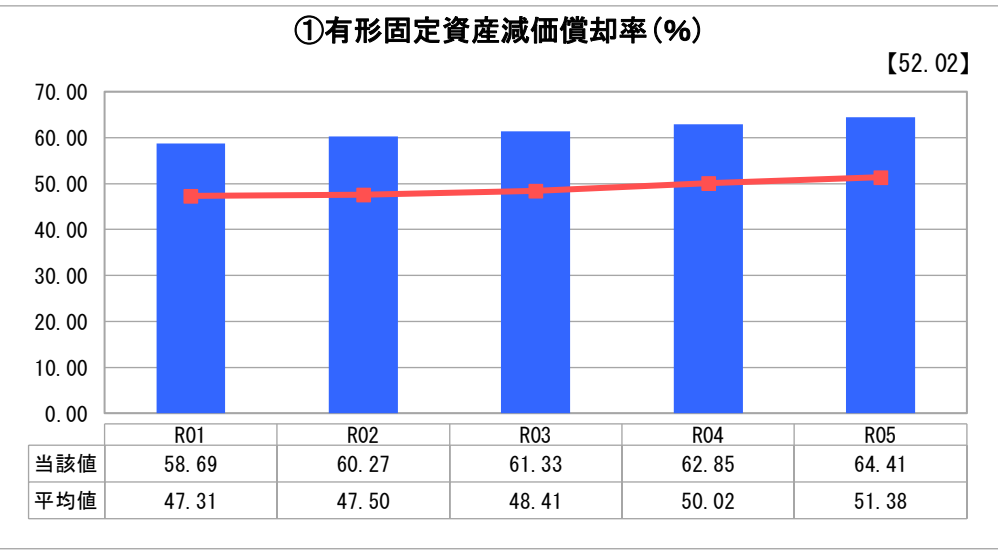
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,932	19.99	446.82
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,023	20.21	446.46

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%以上で平均値を超えており、累積欠損金比率は0%で、流動比率も100%以上、料金回収率も100%を超えていることから健全な経営状況です。また、企業債残高給水収益比率も平均値を下回っている状況ですが、今後管路の耐震化や老朽化施設の更新等が見込まれているため、今後増加傾向となることが予想されます。

給水原価は、地下水を水源としており、大規模な浄水施設が不要であることから、平均値を大きく下回っておりますが、業務用の給水収益の比率が高く、大口使用者の業績に影響を受けやすい不安定な状況です。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産原価償却率は平均値と比べて高く、管路更新率は平均値より低いため、老朽化が進んでいる状態です。管路経年変化率も年々増加傾向にあるため、平準化も踏まえた計画的な更新を実施していく必要があります。

全体総括

比較的健全な経営状況に見えますが、老朽化施設の維持更新や耐震化工事に計画的に着手していく必要があります。これらの工事に多額の事業費を必要とするため、企業債の借入や資産維持費を見込んだ料金改定により資金を確保しなければなりません。

今後、アセットマネジメントに基づき将来に渡って施設・財政両面で健全性を確保し、持続可能な水道運営を進めて行きます。

また、運営にあたっては、専門的な事務や技術の継承、若い世代の人材育成などが課題となっております。今後検討していく必要があります。